

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 26 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	キャリア教育・ふるさと学習支援事業			
担当課係名	教育指導 課	教育指導 係	作成者	田口和典
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画の ページ
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	基礎学力向上と心の教育の充実		94
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	2・3 項 小・中学校費	2 目 教育振興費
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託 (全部) <input type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内小・中学校の児童生徒のふるさと学習・キャリア教育への財政的支援
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市の小・中学校の教育目標である「ふるさとを愛し、豊かな心と健やかな体を持ち、確かな学力を身に付けた仙北の子ども」のうち、特にふるさとへの愛着と誇りをもち望ましい職業観・勤労観を身に付けた児童生徒を育てる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	各小・中学校が行う、「ふるさと学習」と「キャリア教育」の充実のために体験活動の充実と学習活動の推進を財政的に支援する。

【事務事業の推移】

項 目		単位	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標 仙北市の学校教育の重点を反映し、その育成に資する内容の事業を実施した校数	目標	校 12	12	
		実績	校 12	12	
		達成度	100.0%	100.0%	
	成果指標 仙北市の学校教育の重点を反映し、その育成に資する内容の事業を実施した校数	目標	校 12	12	
		実績	校 12	12	
		達成度	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目	総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)	
	事業費 (人件費を除く) (A)		2,443	2,281	
	人 件 費 (B)		—	0	
	職 員 数		—	0.00	
	職員平均人件費		—	0	
	(A) + (B) 投下コスト		—	2,443	2,281
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
一 般 財 源			2,443	2,281	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	203,583	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	85	

【事務事業の今までの成果】

■角館小学校のさくらの町の案内人■中川小のニコニコ米の販売に関わる一連の活動■松木内小学校の西根ささらや北浦音頭の伝承に係る活動やこども美術館■白岩小の地域住民とのふるさと交流活動■西明寺小学校のネギ植えからその販売までを行う一連の活動■神代小学校のイブリガッコの生産と販売に係る活動■西明寺中学校の心のふれあい訪問■生保内中の生保内小と連携した資源回収活動■神代中の4つの柱のボランティア活動■松木内中の紙風船製作に関わる一連の活動■角館中の地域社会の中で生きるホームタウンをテーマにした総合的な学習の時間の取り組み等、地域貢献・地域連携の活動が充実してきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県の「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」では目指す姿を「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」としてふるさと教育、キャリア教育は一層重視する方向にある。他の自治体も同様である。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	この事業によって児童生徒の教育指導面の効果が大きいという学校からの声があると同時に保護者・地域住民からも事業の継続・充実を要望する声が多い。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	長期的視野に立った場合、この事業の目的は、将来ふるさと仙北市に還ってふるさとのよさを活かして起業するような人材を育成することにある。各学校の特色ある取組は財政的支援の拡大で一層充実させることが見込まれる。よって、事業内容等を精査・充実させながら財政的支援を拡大することが望ましいと考える。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）		

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）
各学校の事業の目的と事業内容、その成果について十分な聞き取りを行い、効果的な支援方法を検討することが必要である。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	キャリア教育が重視されてきている中で、児童生徒のキャリア体験や活動を支援する上で不可欠なものであると思う。継続を希望する。

